

4年生が消防署(金武地区消防衛生組合宜野座分遣所)を見学

去る6月1日(金)、4年生は、消防署(金武地区消防衛生組合宜野座分遣所)を見学しました。

消火に使うポンプ車やタンク車、病気やけがをした方を搬送する救急車などの中を見学させてもらったり、消防士の服を着せていただき、酸素ポンペを背負わせていただいたりしました。放水のためのホースで、実際に放水体験もしました。

消防士の勤務内容を教えていただき、その仕事の実験の一部を体験することで、たくさんの発見や驚きを感じることでできた4年生。

最後の「見学させていただき、ありがとうございました。」の大きな声に感謝の気持ちが込められていました。

金武地区消防衛生組合宜野座分遣所の消防士の皆さん、本当にありがとうございました。



写真10・11・12・13・14・15 消防署見学の様子

消防署見学を終えて(感想文より)

私が、宜野座分けん所という消防しょを見学して、わかったことは、タンク車は一万L、ポンプ車は二千Lの水を貯水することができることです。

びっくりしたことは、ホースの長さは、とても長いと思っていたのに、五十mだったことです。

体験では、消防士の洋服を着て、酸素ポンペを背負わせてもらいました。思った以上に重かったので、後ろにたおれそうになりました。

それから、ポンプ車にも乗せてもらいました。火事に出動するときにおすボタンを消防士がおすと

「ウーウー、カンカンカン、ポンプ車が通ります。道をあけてください。」

という放送が流れたので、びっくりしました。

本物体験がいっぱいできた見学は、とても楽しかったです。宜野座分けん所という消防しょの消防士の皆さん、ありがとうございました。(城間真緒)

私は、宜野座分けん所という消防しょを見学して、分かったことが二つあります。

一つ目は、消火に使うための水をためるタンク車には、一万Lもの水が入っているということです。本当にびっくりしました。

二つ目は、宜野座分けん所の消防しょには、八人の人しか働いていないということです。宜野座村で、火事が起こるとその八人の人が消火にあたると思うと、大変だなと思いました。

消防しょでは、消火用のホースを使って放水の体験もさせていただきました。水の入ったホースはとても重かったけど、左右に動かすとたくさんの水が出て、とても楽しかったです。

私達を火事から守ってくださる、消防しょの皆さんに感しょの気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。(小林 桃)